

## 男女共同参画に関する作品

# 入賞作品集

一行詩部門  
&  
写真部門

### 入賞作品総評

**木村 松子** 審査委員代表（山形市男女共同参画審議会会長 山形大学男女共同参画推進室准教授）

「女性の活躍促進」が話題となっている昨今です。今年度は、一行詩「一般の部」を「大学・一般の部」と改めて募集が行われたためか、大学生の応募も増えて過去最高の数になりました。また、「中学・高校の部」は昨年度の約 2 倍、写真部門も近年を上回る数でした。皆様から関心を寄せていただき、また学校等での取り組みに感謝いたします。

一行詩は家族を描く内容が多い中で、今年度は、大学生、高校生が自分自身を見つめた作品が目を見ました。女らしさ男らしさにとらわれないで、自分と相手を認め、関係を築いていこうとする若々しい希望があふれています。

写真部門の最優秀作品は、将来の夢が広がる父娘の会話が聞こえてきそうです。他の作品も男女共同参画がほほえましく表れています。それぞれ家庭や地域、学校で決して違和感なく受け止められるシーンであることを改めて実感し、着実な社会の変化を感じます。

**市川 昭男** 山形市長

「男女共同参画に関する作品募集」は、男女共同参画に対する市民の理解と積極的な参画を図るため、平成 13 年度から毎年実施しておりますが、今年は幅広い年代の方々から一行詩部門 1,887 点、写真部門 23 点と、昨年を大きく上回る作品をお寄せいただきました。市民の皆様の取組みに感謝申し上げます。

特に、一行詩部門では、多くの中学校・高校・大学において、クラスや学年単位、あるいは全校で意欲的に本活動に取り組んでいただきました。お忙しい中、ご指導いただきました先生方に厚くお礼申し上げます。

各部門の作品とも、家族や仲間への感謝、地域社会で元気に活動する姿、将来の夢など、様々な視点から男女共同参画を表現していただきました。男女の別なく協力し、支え合う姿を自然なことと捉える人たちが増えていることを実感し、嬉しく、また頼もしく感じております。

来年度も各部門に多くの方からご応募いただき、男女共同参画の輪がさらに広がっていくことを願っております。

### 審査員一覧（順不同、敬称略）

山形市男女共同参画審議会会長 山形大学男女共同参画推進室准教授  
山形市男女共同参画審議会委員 山形市立山寺中学校長  
山形市男女共同参画審議会委員 山形市女性団体連絡協議会副会長  
山形市写真連盟会長  
山形市企画調整部長  
山形市企画調整部男女共同参画課長

木村 松子  
舩山 章弘  
廣部 公子  
軽部 治悠紀  
齋藤 順治  
安藤 弘子

## 男女共同参画都市宣言

社会のあらゆる場で 男女の人権は 互いに尊重されることが必要です

私たち山形市民は 真のパートナーシップの実現を目指し

さまざまな分野に 男女が平等に参画できる社会を創ります

次代を担う子どもたちに とともに信頼し支え合う大切さを伝え

市民一人ひとりが 力強く歩み続けることを誓い

ここに 山形市は 男女共同参画都市の宣言をします

平成 10 年 9 月 山形市

## 写真部門

応募総数 23 点

最優秀賞



### 夢は運転士

堀籠 正憲（長町）

廃線の駅にラッセル車が展示してありました。運転席に座る鉄の父と子鉄の娘。

#### ●審査員からのコメント

未来志向の楽しい写真です。この娘さんが成人する頃には、女性の電車の運転士や飛行機のパイロットも珍しくない時代になるでしょう。窓の向こうも写る露出に設定すれば、もっと作者の感動が表現できたと思います。

優秀賞



### 父ちゃんががんばって

黒沼 末八（大字門伝）

夫婦、歳を重ねて、ともに仲良く、農作業をしている風景が、微笑ましく思いました。

#### ●審査員からのコメント

作品の作り方のツボを押さえており、プリント仕上げもきれいで、一見して上級者の作品と分かります。多くの方がご夫婦の農作業をテーマに撮られていますが、作業の内容や、田園の魅力などをもっと表現するとさらに良くなると思います。

入選



### 教えてあげる

佐藤 日花里（工業高）

裁縫の苦手な男の子が裁縫の得意な女の子に優しく教えてもらっているところを撮りました。

入選



### さくらんぼみこし

山下 忠（六日町）

みんな元気でがんばろう。

入選



### パパのパパは育メンじい

渋谷 マスヨ（松山）

それぞれが、仕事も遊びも大切にしながら家族で助け合っております。